

第30回全日本学生ライフセービング選手権大会

チーム参加募集要項

学生

チーム1次要項

2015年7月吉日

第30回全日本学生ライフセービング選手権大会
実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会事業に対して格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度「第30回全日本学生ライフセービング選手権大会」を開催するにあたり、要項等の資料をお送り致します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

- ▼日 程 : 2015年9月26日(土)～27日(日)
- ▼場 所 : 御宿中央海岸(千葉県御宿町)
- ▼主 催 : 特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会
- ▼後 援 : 文部科学省、国土交通省、消防庁、海上保安庁、千葉県、千葉県教育委員会、
(予定) 御宿町、御宿町教育委員会、公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー
- ▼協 賛 : 株式会社三洋物産/株式会社三洋販売、株式会社オッシュマンズ・ジャパン、
(予定) 株式会社櫻井興業GUARD事業部
- ▼協 力 : ディー・エイチ・エル・ジャパン株式会社、サヤン・テラス(株式会社ミドルウッド)、
(予定) 勝浦海上保安署、一般社団法人御宿町観光協会、有限会社吉田三郎商店、
国際武道大学トレーナーチーム、特定非営利活動法人九十九里ライフセービングクラブ、
御宿ライフセービングクラブ

■競技種目

【個人種目】種目名末尾の《》内の数字は、各チーム(男女別)の最大エントリー人数を表します。

| | | |
|----|---------------|------|
| 01 | サーフレース(女子) | 《3名》 |
| 02 | サーフレース(男子) | 《3名》 |
| 03 | サーフスキーレース(女子) | 《2名》 |
| 04 | サーフスキーレース(男子) | 《2名》 |
| 05 | オーシャンマンウーマン | 《2名》 |
| 06 | オーシャンマン | 《2名》 |
| 07 | ビーチフラッグス(女子) | 《2名》 |
| 08 | ビーチフラッグス(男子) | 《2名》 |
| 09 | ビーチスプリント(女子) | 《2名》 |
| 10 | ビーチスプリント(男子) | 《2名》 |

【チーム種目】チーム種目は各チーム(男女別)エントリーは1組です。種目名末尾の<>内の数字は、種目毎の競技者数を表します。

| | | |
|----|--------------------|------|
| 11 | レスキューチューブレスキュー(女子) | <4名> |
| 12 | レスキューチューブレスキュー(男子) | <4名> |

| | | |
|----|----------------|------|
| 13 | ボードリレー (女子) | <3名> |
| 14 | ボードリレー (男子) | <3名> |
| 15 | ボードレスキュー (女子) | <2名> |
| 16 | ボードレスキュー (男子) | <2名> |
| 17 | オーシャンウーマンリレー | <4名> |
| 18 | オーシャンマンリレー | <4名> |
| 19 | ビーチリレー (女子) ※1 | <4名> |
| 20 | ビーチリレー (男子) ※1 | <4名> |

【特別種目】 チーム種目は各チーム (男女別) エントリーは1組です。種目名末尾の<>内の数字は、種目毎の競技者数を表します。

| | | |
|----|--------------------|------------|
| 21 | 1km×3 ビーチリレー (女子) | <3名> |
| 22 | 1km×3 ビーチリレー (男子) | <3名> |
| 23 | BLS アセスメント (女子) ※2 | <各チーム2名抽選> |
| 24 | BLS アセスメント (男子) ※2 | <各チーム2名抽選> |

※1 ビーチリレー

決勝進出チーム以外から「選抜チーム」として、敗退したチーム4校から1名ずつ選手を選んでもらい選抜チームを作ります。このチームに参加できるのは、準決勝が2組(ヒート)あった場合はそれぞれ5,6位に入ったチームから、また予選から決勝へ進む場合は予選での組(ヒート)数により決定します。決勝では、オープン参加での出場となるので1~3位に入った場合、表彰や得点は入りません。

※2 BLS アセスメント

必須参加種目とし、各チームの登録競技者の中から2名を抽選で選出します。詳細につきましては2次要項でお知らせいたします。この種目については、表彰いたしません。

■**競技規則** 競技規則 2014 年版に則って実施します。

■**タイムテーブル** エントリー後、2次要項とホームページにて掲載いたします。

■**予備日** 当大会において「予備日」等は設けません。

■**得点と表彰**

各種目上位 1~8 位を入賞とします。さらに、1~3 位にはメダルを授与し表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により、上位 1~8 位を入賞とし、1~3 位までのチームには表彰式で表彰します。総合 1 位のチームには「日本ライフセービング協会理事長杯」(女子・男子) を授与いたします。

決勝の結果に対して得点を加算し、個人、チーム、特別種目とも同じ得点とします (BLS アセスメントについては別途規定を設けます)。同種目に同じチームの競技者が入賞した場合も、以下の通り得点が加算されます。配点は以下の通りです。総合順位は、実施種目の 70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

得点

1 位-8 点、 2 位-7 点、 3 位-6 点、 4 位-5 点、 5 位-4 点、 6 位-3 点、 7 位-2 点、 8 位-1 点

① チームの総合得点が同点の場合は 1 位の種目の多いチームを、1 位の種目が同数の場合は 2 位の種

目の多いチームを…というように総合順位を決定します。

②決勝で失格の場合は0点とします。

③BLS アセスメント詳細については、2次要項でお知らせします。

■ラッシュガードの着用について

公式競技会におけるオーシャン競技・サーフ種目におけるラッシュベストの着用は義務となります。ラッシュベストの着用なしでの参加は認められません。

■参加費

競技者1名につき、6,000円

※ 振込期限、振込先については、「大会エントリーの手引き」でご確認ください。

■出場確認および代表者会議

各競技の出場確認については、9月25日（金）19時00分から19時30分までの間、競技進行や競技上の注意事項について説明する代表者会議は同日19時30分より開催を予定しております。詳細につきましては2次要項でチーム代表者宛にご連絡いたします。大会直前の重要な情報を伝達し、各種目の最終出場確認をするため、代表者会議は必ず出席してください。

■宿泊について

必ず御宿町観光協会を通してお申込み下さい。（別添、申込書）

■C級審判員養成講習会

◇ 8月5日（水）および8月6日（木） 18時30分～21時30分 神明いきいきプラザ

- 1講習を夜間2回にわけて実施します。
- 申し込みはJLAホームページから。

■申込方法

「参加競技者募集要項」「大会参加規定」を熟読し、学校（チーム）単位でお申し込みください。提出物は書類だけでなくデータファイル等も存在し、提出物によって〆切日が異なります。詳細は「大会エントリーの手引き」でご確認の上、記入漏れ・記入ミスのないように十分ご注意ください。

※ エントリーにあたっては、必ず在籍の学校よりエントリーをして下さい。

■申込締切と提出物

| 提出方法提出書類等の概要 | | 提出方法 | 提出期限(締切) |
|------------------------------------|--|---|-----------------------------|
| データ/書類 | ●チーム/選手エントリーデータ (チームエントリーフォームA・B・C) | メール提出 | 2015年9月7日(月)24:00 受信分まで |
| | ●チーム写真の画像データ ※大会パンフレット用(jpg,png等) | | |
| | ●フレンドシップナイト参加名簿 (チームエントリーフォームG) | | |
| | ●キャップ申請書 ※新規/変更 (チームエントリーフォームキャップ申請書) | | |
| | ●同意書 (チームエントリーフォームD) | 郵送提出 | 2015年9月7日(月)当日消印有効 |
| | ●競技者カード (チームエントリーフォームE) | | |
| | ●チーム紹介 (チームエントリーフォームF) | | |
| | ●エントリーチェックシート (別紙) | | |
| | ●学校紹介ポスター | 現物持参 | 2015年9月25日(金)代表者会議受付 |
| | 振込 | ●大会参加費の振込 | 「大会エントリーの手引き」、参加費の振込をご参照の上、 |
| ●選手の個人年会費 (2015年度 正会員 or 一般会員) | | http://www.jla.gr.jp/home.htm | |
| ●チームの団体年会費 (2015年度 正会員 or 一般会員) | | 「会員になるには」をご参照の上、手続き下さい | |
| 注) | ※ 締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。 ※ 参加規定を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。 ※ 参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。 | | |

■今年のテーマ 「繋～30回目のその先へ～」

今まで大会を繋いで下さった方々のおかげで、私たちは30回目を迎えることができています。互いに切磋琢磨し刺激し合う事の出来る多くの仲間との繋がりを深め、今大会を経て、ライフセービング界自体が更なる発展と共に飛躍し次へ繋がるものとなり、40周年、50周年と先へ向かっていく事の出来る大会を目指します。そして現状に満足せず、これまでと未来を繋ぎ、新たなスタートとして切り拓いていく事の出来る大会にしたいという思いを込めました。

■イベント

学生室からのイベントについては、他大学のメンバーとクラブユニフォームを交換し、題目の書かれたサイコロを振ってもらいます。でたサイコロの目を書いてある題目（ポーズなど）で撮影します。サイコロの目には、①握手 ②肩組み ③腕組み ④ハグ ⑤両手ハイタッチ ⑥自由 です。学生室が各大学各学年（1～4年生）の学校組み合わせリストを作成します。そのため、あらかじめ学校内の各学年代表者を1名選出してください（男女は問いません）。

組み合わせリストの撮影が終わったら、好きなメンバーと撮影に来て下さい。撮った写真を映像にまとめ、11月開催予定の「第7回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会」で放映する予定です。皆さまの積極的な参加お待ちしております。

特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会

〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1F

TEL: 03 (3459) 1445 / FAX: 03 (3459) 1446

第 30 回全日本学生ライフセービング選手権大会 大会参加規定

1. 参加資格

競技者の参加資格は下記の 5 点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 大会当日の年齢が 18 歳以上であること（ただし高校生を除く）。
- 1-2 ライフセービングを志し、出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺の監視・救助活動、協会が認める教育活動に 25 時間以上従事した学生であること。
- 1-3 本協会の団体正会員・団体一般会員に所属かつ個人正会員または個人一般会員として登録している学生であること。
- 1-4 チーム参加の場合、参加チームの大学または専門学校に在籍し、その所属する大学および専門学校が協会に登録されていること。
- 1-5 1-4 に該当しない学生で、個人正会員または個人一般会員として登録している者で、大学および専門学校にライフセービング部がない学生は、個人種目のみ参加を認める（ただし、チームキャップの登録は必要なので事前に確認すること）。

2. チーム構成

- 2-1 出場資格を満たした者で構成し、それぞれの大学又は専門学校に在籍している学生のみで構成されていること。
- 2-2 1 つの学校からの出場チーム数は男女 1 チームずつとする。但し、同じ学校でも校舎が離れている等の事由により別に活動しているクラブがある場合は、その活動状況を審査し、1 学校で 2 チーム以上の出場を認める場合もある。
- 2-3 2-2 においては調査を必要とするため、大会開催 50 日前までに必ず申請をすませる事とする。なお、期限を過ぎたときは今回の大会には起用しない。
- 2-4 本大会のチーム構成は、男子チーム・女子チームとする。男女混合のチームとして参加は認められない。

3. 競技者登録

- 3-1 1 つのチームからの登録競技者数は男子 31 名、女子 31 名までとする。
- 3-2 個人種目の登録については規定の参加競技者数を必ず守ること。チーム種目、特別種目については各学校の規定登録競技者の中から選出するものとする。

4. チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を 1 名おこななければならない。なお、チーム代表者と競技者はこれを兼任することができる。

5. チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 5-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードを持たなければならない。
- 5-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、ラッシュガード、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
水着については、「水着に関する規定」に準じる。
- 5-3 キャップは、競技会の前に本協会に登録されていなければならない。しかし、すでに登録を済ませ変更がない場合は必要ない。未登録のクラブは大会指定の期限までに「チームキャップ申請書」を届出しなければならない。
- 5-4 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンでなければならない。キャップは、競技者の識別や判定

のために重要であるため、スタート前に紐をあごの下で結んで競技者の頭に着用しなければならない。スタートの後に、キャップがとれたり、失ったりした場合でも、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

- 5-5 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
- 5-6 大会主催者が、競技中に衣類（ビブス等）の着用を求める場合がある。

6. 競技者の変更

締切日までに各種目に出場する競技者の氏名等を提出すること。何らかの理由によりその競技者が大会に出場できなくなった場合は、登録競技者の中から下記の日程にて「競技者の変更」を受付ける事とする。下記以降は一切受け付けない。

日 程：9月25日（金）

場 所：代表者会議会場（会場は後日の2次要項を参照）

方 法：指定時間内において、変更内容を指定用紙で提出すること。

毎年多くの競技者が安易に競技者登録を行っているため進行に支障を来しています。その為、~~メ~~切を過ぎたものおよび不備のあるものは一切受理いたしません。学生ライフセーバーとして責任を持った行動と・チームの管理をしっかりと行うようにしてください。

7. 参加費

- 7-1 参加費は、出場する種目数にかかわらず1名につき6,000円とする。
- 7-2 参加費は参加申込締切日までに、所定の金融機関口座に納入（振込）しなければならない。
- 7-3 天候その他の理由により、大会の日程変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。
- 7-4 参加競技者の欠場や、失格となった場合でも参加費は返還されない。

8. 競技器材

- 8-1 競技で使用する器材は「ライフセービング競技規則（2014年版）」の「競技器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 オーシャン競技で使用するレスキューチューブは、主催団体が用意するものとする。
- 8-3 競技器材は規定に合ったものを使用しなければならない。なお、競技役員は必要に応じて競技器材が規定にあっているかの検査をすることがある。

9. 審判員について

- 9-1 審判員として参加する者は、「審判員・スタッフ参加申込書」に必要事項を記入して期限までに提出すること。
- 9-2 審判員として参加する者は、C級公認審判員資格以上を取得し、競技者として登録していないこととする。
- 9-3 審判員として参加する者は、2日間を通じて参加するものとする。なお、2日間を通じて審判員を選出できないとき（やむを得ず参加日ごとに審判員が入れ替わる場合）は、主催者は1名分の交通費（上限¥5,000円）のみを支給する。なお、その場合、1名の方に交通費を全額支給しますので、選出審判員の代表として受取下さい。
- 9-4 審判員の参加に関わる交通費、昼食は別紙「審判員募集要項」に基づき主催者が負担する。
- 9-5 「審判員・スタッフ参加申込書」については、ホームページからダウンロードし、必要事項を入力（記入）のうえ、提出期限までに所定の方法で提出すること。

10. 代表者会議

大会開催に先立って代表者会議を実施するので、チーム代表者は必ず出席をすること。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、参加競技者で代表者に準ずる者が必ず出席をすること。

11. 競技規則

- 11-1 この他の競技規則は、「ライフセービング競技規則（2014年版）」に則って実施する。
- 11-2 気象、海象等の自然状況の変化により競技者や競技役員の安全確保が困難と判断した場合は、コースや距離の変更、競技の中止をすることがある。
- 11-3 泳力等の不足や傷病等により競技の続行が危険と判断した場合は、対象競技者の競技を中断することがある。

12. 特別種目における競技ルール

12-1 BLS アセスメント

- ①本競技会に出場する全てのチームは、必ず参加しなければならない。
- ②各チームの中から、BLS アセスメント出場者を抽選により大会当日発表する（各チーム2名）。
- ③詳細については2次要項および代表者会議等にて説明する。

12-2 1 km×3 ビーチリレー

- ①靴の着用は競技中の安全を考慮し、使用可能とする。
- ②スターターの合図により競技者はスタートし、所定の1 kmのコースを走り、たすきをチェンジオーバーゾーン内（20m）で次の競技者に手渡す。同様のコースを計3名でリレーをし、第3競技者がゴールした順に着順を決定する。
- ③競技中に他の競技者を故意に妨害してはいけない。
- ④参加チームの『たすき』は各学校で必ず用意すること。
- ⑤『たすき』は布製で長さ1m60 cmから1m80 cm、幅6 cmを標準とする。
- ⑥たすきを用意できなかったチームについては出場することができない。
- ⑦『たすき』は必ず肩から脇の下に掛けなければならない。
- ⑧渡された『たすき』は速やかに肩に掛けること。
- ⑨『たすき』は代表者会議において大会本部に承認を得なければならない。
- ⑩共通競技規則およびオーシャン競技総則については、他の種目同様とする。

13. その他

- 13-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 13-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 13-3 大会を撮影した写真やビデオについては、主催者側が提示を求めた場合速やかに提示しなければならない。
- 13-4 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。
- 13-5 大会中、個人で応急処置のできるものは各自行うこと。各クラブで救急箱や氷等を用意し、ライフセーバーとして自己管理をしっかりと行うようにする。

(以上)